07 尾ヶ崎ウィングからの眺望（おがさきうぃんぐからのちょうぼう）

下田市の玄関口に位置し、伊豆七島や須崎半島、白浜の海岸を一望できる景勝地です。さらに近くの国道沿いには住民によって植えられたアロエが咲き誇ります。海面反射で海が光る景観は見るものに感動を与える絶景となっています。

左写真　尾ヶ崎ウィングから、遠く白浜海岸を望む。
右写真　太陽の光が海面に反射し、キラキラとまぶしい。

08 アロエの里（あろえのさと）

住民が地域振興のために月曜会という組織をつくり植栽してできました。現在では白浜観光協会と月曜会が連携して管理しています。青い海、青い空、そしてアロエの赤い花のコントラストが素晴らしく、花の蜜を吸いにくる小鳥の姿が何ともかわいらしいです。

左写真　白浜板戸港から始まるアロエ遊歩道は海岸線と共に伸びる。
右写真　赤いアロエの花と朝焼けが美しい夕暮れ時の風景。

09 白浜中央海岸（長田浜）（しらはまちゅうおうかいがん）

白浜中央海岸は「日本の海水浴場 88 選」や「日本の快水浴場百選」にも選ばれるほど水質が良好な海水浴場です。神船と呼ばれる自然が作り出した岩と防波堤に囲まれ、波が穏やかなことが特徴です。この海岸には海沿いの遊歩道（神舟歩道）があり、海を眺めながらのんびり散策するのもおすすめです。

左写真　木製のデッキを降りると広がるエメラルドグリーンの海。
右写真　白い砂浜と空の青のコントラストが美しい。

10 天草倉庫（てんぐさそうこ）

石壁が見事な建物です。以前は天草をおさめておく倉庫として使用されましたが、現在は漁協の倉庫として使用されています。また、天草倉庫の前で地元の漁師さんが網を干している姿は趣きがあります。白濱神社例大祭の時には、白浜の歴史を物語るギャラリーとして使用され、住民に愛されていることがわかります。

左写真　周りの風景に溶け込む伊豆石造の天草倉庫。
右写真　近くに寄ると、伊豆石の表情が伺える。

こちらの下田まち遺産については、下田市役所ホームページ内にて紹介しております。 下田まち遺産 検索

11 獅子鼻岬（ししばなみさき）

獅子の鼻の形をした岩が特徴の岬で、まるで獅子が伏せているように見えます。昭和を代表する日本画家といわれる東山魁夷画伯が、皇居の襖絵を描くためにスケッチに来た場所です。紺碧の海と白浜大浜海岸を背景とした眺望は絶景で、この景色を後世に残したかった東山画伯の気持ちがうかがえます。

左写真　南側から獅子鼻岬を見る。
右写真　獅子鼻岬をスケッチする東山魁夷画伯。

※見学には危険が伴いますので十分ご注意下さい。

12 白浜三穂ヶ崎（しらはまみほがさき）

三穂ヶ崎は岬の先端の岩場から、多数の石製玉類が発見されており、海や海島を「まつり」の対象とした古代の祭祀遺跡です。また、幕末開港時の砲台遺跡も残っており、祭祀遺跡と砲台遺跡の２つの点で市指定文化財となっています。歴史的に重要な場所と同時に、美しい景色が一面に広がり、その壮大さに感動を覚えます。
（※先端部は手すりがないため注意してください。）

左写真　三穂ヶ崎先端から反対方向を見る。
右写真　三穂ヶ崎から外浦海岸方向を見る。

13 白浜大浜海岸（しらはまおおはまかいがん）

南北に約８００メートルと広々とした海岸で、伊豆半島最大規模の海水浴場です。9月中旬まで泳ぐことができ、サーファーも多く訪れます。コバルトブルーの海（水質ＡＡ）と白い砂浜のコントラストは絶景で、大自然の雄大さを肌で感じることができます。

左写真　国道からみた全景。
右写真　水中の様子が見て取れるほど透明度の高い海。

14 高根山（たかねさん） 15 高根山からの眺望（たかねさんからのちょうぼう）

高根山は民話の残る山です。民話では、お寺の縁の下で光っていたお地蔵さまを高根山の頂に建てたところ、船が暴風雨などにあった際、このお地蔵さまに祈願すると山頂が輝き、船を安全に港へ導き入れてくれると伝えられています。また、高根山からの眺望は、下田から富士山が見える数少ない場所の一つであると共に伊豆七島が一望でき、高根山から寝姿山へ抜けるコースは人気のハイキングコースとなっています。毎年１月 24 日にはお祭りも開催されています。

左写真　高根山への登山口（白浜側）。
右写真　高根山道の途中にある富士山を眺められるスポット。晴れた日には富士山の頂を見ることができる。

ご不明な点、ご質問等ありましたらご連絡下さい。問い合わせ先：下田市建設課 TEL.0558-22-2219